

令和2年度 保護者による教育評価 意見のまとめ

※趣旨を変えない程度に一部簡略化したり、同様の意見についてはまとめたりして掲載しています。番号はアンケートの設問に対応しています。

よさ、向上、改善の提案

学校について

1 心配な事がある時に電話をした時や話をしに学校へ行った時にすごく真剣に聞いてくださり、丁寧に対応していただきすごく感謝しています。

1 息子がスクールカウンセラーを受けて、学校への不安など話ができ、少しずつですが落ち着きが見られ、担任の先生と連携していて息子に寄り添っていただけて感謝しています。

1 友達作りに苦労していたが、毎日楽しくお話ができる気の合う友人ができて感謝しています。

1 コロナで大変な中、子ども達が楽しめるよう工夫して（学校行事など）学校生活を送らせていただいていたありがとうございました。

→子どもが安心して学校で過ごすためには、子どもだけでなく親さんも不安や悩みを抱え込まないことが大切です。不安や悩みを話したいと思ったら、いつでも話をしてください。

→これからも子ども達の笑顔があふれる学校づくりに努力していきます。

2 先日の懇談会で先生より学校で「ありがとう」と言っていることを知りました。挨拶など積極的にできるタイプではないと思っていたので驚きとともに感心しました。

2 子ども達からの挨拶はできないことが多いと思う。大人から声をかけても無視あるいは小声。日頃からあいさつする習慣はないだろうか。

→挨拶の啓発活動として、今後も委員会活動やPTA活動としての挨拶運動を中心に、日常から進んで挨拶をする大切さを指導していきます。

5 今年はコロナという不測の出来事があり、戸惑うことも多かったです。今後どのような経過を辿るか、不安な状況が続くと思いますが、学校と家庭の連携がさらに強いものになることを願っています。

5 コロナの影響で参観日や運動会などの行事が中止になり（学校へ出向く機会がなくなり）子ども達の学校での様子を知る機会がほとんどなくなったことは大変残念でしたが、安全第一を思えば、当然であり、学校の対応に感謝しています。

→今後もコロナ禍の中であっても、常に学校と家庭の連携を強化し、一緒に子ども達を育てていきます。

学校安全について

7 母親委員会で挨拶運動の時、学校へ車で送迎してもらっている子の多さに驚いた。学校に着いて分団で反省会をしている姿を見ることができてよかった。感心しました。

7 学年下校の際、習い事などで他の子がお迎えの時に、一人で下校になってしまうことがある。仕方のないことなのですが、一人での下校は少し心配になってしまいます。一人になった時は同じ地区のお母さんが連絡をくれる時もあるのでありがたいです。

→登下校については、家庭や地域とも連携を強化し、子ども達の安心・安全を守っていきたくたいです。引き続きご理解・ご協力をお願いします。

8 ちょっとした言葉の嫌がらせが多少なりともまだあるのかなと思いましたので、エスカレートしないように見守っていただけるとありがたいです。

8 クラスでの問題点について子ども達の意見を聞いて解決案を出して、話し合いをしている。それを保護者にも連絡（手紙）してくれて、素晴らしいです。

→定期的に「心のアンケート」を実施し、自分だけでなく周りにつらい思いをしている子がいないかを聞いたり、個別に話を聞いたりしています。また、日頃から気になる言動については、情報を共有し、指導にあたっています。お子さんの様子で気になることがあれば、ご連絡をください。

継続して取り組んでいること

11 コロナウイルスで大変な中、授業参観（10月）を開催してくださりありがとうございました。今年は学校での子どもの姿を見ることができなかったので、うれしかったです。スポーツフェスティバルも家族が見られるように工夫してくださり感謝します。

11 スポーツフェスティバルの様子をオンラインで拝見させていただきました。先生方のあたたかい工夫が感じられて心があたたかくなりました。ありがとうございました。

→行事等については、子どもの安心・安全を第一優先にしながら、できるだけ実施できる方向で考えています。やり方については、変更等があり、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

家庭に関するもの

12 恥ずかしい年ごろなのか自ら挨拶をすることがなかなかできていないように思う。PTAで挨拶運動をしても、うちの子と同じ感じで6割くらいの子ができていない。マスクのせいもあるので、マスクをしていても笑顔や気持ちの伝わる挨拶ができるとよい。

14 テレビやゲーム等の時間を決めていないのが改善しなければいけないと思っています。家族で話し合って決めていきたいと思います。

15 時間の使い方が上手になりました。習い事の前に宿題が終われるように考えて動けるようになりました。

15 習い事の迎えの関係でスマホを持たせていますが、持たせ始めた頃よりも節度を持って使用している。日頃よりスマホの影響を話しておく必要性はあると思う。

→家庭に関することについては、PTAと協働して取り組んでいます。ただ、今年度は、コロナ禍の中で思うように活動ができませんでした。今後は、より中学校や幼稚園とも連携を図り進めていきます。

素敵な姿 こうするとよいという提案

☆信号のない横断歩道を渡る時、車が止まってくださり、渡り終えた後、しっかり車の方へ向かって頭を下げ、大きな声で「ありがとうございました。」としっかり伝えられていた姿に親としてとてもうれしく思いました。心が温かくなり、より安全運転を意識しました。

☆近所の人とすれ違った時は挨拶がしっかりできているし、横断歩道を渡り切った時、譲ってくれた車に会釈をしている姿を見ていて、とても気持ちいいです。

☆子ども達が出会った人と遠い所でも気持ちの良い挨拶をしている。

→同様の意見を多数いただきました。これらの素敵な姿は、学校の指導だけでなく、家庭や地域での声掛けのおかげだと思っています。引き続き、一緒に子ども達の良い姿を認め、励ましていきたいです。

☆小さい子（幼児）がいても見守ってくれたり、面倒を見てくれたりする姿があり安心しましたし、感心しました。（優しい子が多い）年齢の違うこと同じ活動をすることで、行動や立ち振る舞いなど、自然に学んでおり、年上の子達も温かく教えてくれる姿が素晴らしいと思います。

☆高学年の子が責任をもって低学年の子を世話してくれている姿に感動し、うれしく思います。（分団登下校中、見守ってくれたり、話をよく聞いてくれたり）そんな姿を見て、我が子も見習い成長してほしいです。

☆高学年の子が低学年の子に声をかけて危険のないように歩いてくれている。休みの日も一緒に近所で遊んでくれるのでありがたいです。

☆挨拶運動に参加した時、多くの子が挨拶をしていました。中でも立ち止まりこちらを見て「おはようございます」と頭を下げて丁寧にあいさつをしてくれる子に感心しました。また、高学年の子が挨拶するのを見て、低学年の子が続いて挨拶をする様子を見て、高学年の子の姿を見て低学年の子がその姿を学んでいるのだと思いました。

→同様の意見を多数いただきました。これらの素敵な姿は、低学年の時に、高学年の子に優しく接してもらったうれしさを今度は自分が高学年になった時に低学年の子に伝えていくという素敵な連鎖があるからだと思います。この素敵な連鎖を今後も大切にしていきます。

☆元気に近所の子も達で集まって公園でドッジボールなどをして、遊んでいる姿をよく見ます。コロナ禍で制約も多いですが、元気にのびのび過ごせているようで安心しました。この様子は大人にも元気を与える姿だと思いました。

→明るく元気な子どもの姿を見続けることができるよう、これからも取り組んでいきます。

●学校前の横断歩道を渡る姿に感心した。班旗を持っている子が分団の子を誘導していて車でそばを通る時も感心しました。ただ、頼貞分団の通る市原の道が車の通り抜けに使われており、両方向で朝よく車が狭い道を分団の側を歩いていき怖い。警察の交通課など時間帯の片側通行ができないものですか？地域の道のため、区に声を出しても対策しづらい感じを受けます。この道で登校中けがをしている子もいるようなので心配です。

→登下校時の通学路については、年度末に次年度の支部長さんを中心に点検していただき、危険箇所を報告していただいています。報告していただいた危険箇所については、教育委員会など関係機関と一緒に点検し、改善を図っています。今回、教えていただいた箇所についても、支部長さんと確認の上、教育委員会に報告していきます。

●下校のトラブルがあり、どの先生にご相談したらいいかわからない。

→登下校時のトラブルについては、担任だけでなく分団担当者等も一緒に情報を共有しながら対応しています。また、気になる情報が入った場合は、担任や分団担当者につなげていますので、いつでも相談をお寄せください。